

令和5年5月定例教育委員会会議録

○日 時 令和5年5月24日(水) 午後3時～午後3時35分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦  
1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)  
2番 清野 康子  
3番 中村 公俊  
4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
学校教育課長	今野 新一	学校教育課指導主幹	渡邊 智
社会教育課長	沼沢 紀恵	社会教育課文化財主幹	五十嵐 雄
スポーツ課長	阿部 三成	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	五十嵐 恭子	給食センター所長	小林 尚志

○出席事務局職員氏名

管理課庶務係長 長瀬 陽彦

【会議次第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議事  
日程第1 議第9号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価の対象事業について
- 5 報告事項
  - (1) 臨時代理処理事項の報告について(非公開)
  - (2) 国際バドミントンU16庄内2023について
  - (3) 山形小説家・ライター講座について
  - (4) 近世鶴岡の俳諧展について
  - (5) その他
- 6 閉会

## 開 会 (午後3時)

教育長 ただいまから5月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。

(学校教育課長が先唱し市民憲章唱和)

本日の会議録署名委員は、1番委員に願います。

教育長 それでは議事に入る。はじめに、日程第1議第9号について、事務局より説明をお願いする。

管理課長 議第9号について説明する。

当該「点検・評価」については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進並びに市民への説明責任を果たすことを目的とする。本議案は、令和5年度の教育委員会事務事業の点検・評価に係る対象事業として、令和4年度に実施した16事業を提案するものである。当該事業については、教育委員会各課において、主要事業の中から市総合計画での位置付けや市民生活上の親近性などを勘案し、注目度の高い事業を選び出した。

初めに、1から3までの管理課所管の通学対策事業、学校改築事業、学校冷房設備整備事業については、スクールバスの運行や朝暘第五小等の改築に係る事業、また特別教室への冷房設備整備を進めてきたが、施策の重要性や予算規模等から同課の主要事業であり、昨年度から引き続き対象事業とする。

次に、4から6までの学校教育課所管の事業については、地域とともにある学校づくり推進事業、GIGAスクール構想推進事業を引き続き対象とする一方、学校業務を効率化するための校務支援システム導入に係る学校系ICT機器等整備運用事業を新たに対象とする。

次に、7から9までの社会教育課所管の事業については、施策の重要性や予算規模等の観点から、文化会館管理運営事業と令和元年の地震によって被災した国指定重要文化財旧西田川郡役所について令和2年度から3か年計画で災害復旧と耐震工事に取り組んだ文化財管理保存事業を継続するほか、新型コロナウイルス感染拡大により延期していた令和2年度並びに3年度成人式に加え、令和4年の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことから、成人式から名称を変えて初めて開催した成人式・二十歳を祝う会事業を新たに対象事業とする。

次に、10の中央公民館市民学習促進事業については、昨年度、女性センターは開館40周年を迎え記念講演会等の事業を展開したことから、女性センター講座運営事業を対象とする。

次に、11の藤沢周平記念館管理運営事業については、本市独自の施設と

いうことで引き続き対象とする。

次に、12から14までのスポーツ課所管の事業については、昨年度に引き続き、ウォーキング等普及推進事業、体育施設整備・管理運営事業、鶴岡市スポーツ少年団本部支援事業を対象とする一方で、令和3年度で事業終了したホストタウン推進事業を対象から外した。

最後に、15、16の図書館・郷土資料館及び学校給食センターの管理運営事業については、ともに教育委員会の主要施設であることから、引き続き対象事業とする。

議案の概要は以上のとおりであるが、これら16事業について、事業の目的や目標、実施内容及び状況、その評価と今後の方向性について、昨年度と同じ個票様式を用いて取りまとめる。

また、外部評価者については、管理・学校教育分野にのみ異動があり元小学校長の生田浩樹氏を新たに選任し、社会教育分野では元中学校長の鈴木晃氏、スポーツ分野では元教育委員の田中芳昭氏に引き続き依頼している。

なお、今後の進め方として、6月中旬を目途に事務局において各事業の点検評価個票を作成した後、教育委員の皆様にご覧いただき当該個票をお送りするので、ご意見等があればお知らせくださるようお願いする。

そして、各課ごとに改めて確認した上で、7月上旬に外部評価者にお送りし、8月上旬までに評価をいただき、8月中旬には外部評価者による評価を入れた報告書を作成し、8月定例教育委員会にお諮りしたい。

また、教育委員の皆様のご承認を得られたら、市議会9月定例会会期中を目途に市議会議員全員にお配りするとともに、市のホームページに掲載する予定である。

教育長

ただいまの議第9号について、ご質問、ご意見等はあるか。

1番委員

コロナ対策として様々な事業が行われ、予算的にも多いが、それはコロナ対策本部などの方で個別に事業評価しているのか。

管理課長

コロナ対策は、補正を組んで実施するなど予算も大規模にやっているため、この対応の中で評価していくというのも一つの考え方としてはありうらと思う。管理課でも消耗品や備品費での対応をしているし、それぞれの課でも様々な事業をやっているため、どう評価するか難しい部分もある。この中で評価するのか、別のところで共通の事項として評価するのか、今は確定的な内容をお示しできないので、ご意見を頂いたうえでしかるべき対応をしていきたい。

教育長

教育委員会だけではなく全市的な予算割当である。全市的にコロナ対策についての評価や振り返りなどはあるのか。対策本部会議がまだあればそこで振り返りもできると思うが、対策本部会議は解散したため今後の会議

招集はないと思われる。

教育部長

コロナ対策の事業評価について、一般的な話として国からの臨時交付金の場合は、一般財源として組み込んでいく形になるので、市の事務事業評価の中で見ていく。ただ、交付金をどう使ったかについては国に報告していくので、その報告の中身を精査する中で、国としても適切に使われたのかを評価されると思われる。また、補助金をかさ上げし、例えばコロナ対策のために換気をよくする場合には、その補助金に対する検査、財務省における補助金の検査、会計検査院による検査などで評価されていくのが一般的な流れになるかと思われる。

教育長

各課ごとに評価をしなくてもいいということか。

教育部長

特に指示がなければそうなる。

教育長

ほかにご質問、ご意見等はあるか。

なければ、議第9号について、賛同の方は挙手をお願いする。

各委員

(全員挙手)

教育長

全員挙手により可決された。

続いて報告事項に入る。報告事項(1)は人事案件のため、非公開とすることにご異議はないか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしと認め、これより非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長

報告事項(2)について、事務局より報告をお願いする。

スポーツ課長

「国際バドミントンU16庄内2023」について紹介する。この大会については、7月1日(土)、2日(日)に本市小真木原総合体育館において、4年ぶり2度目の開催となる。

本大会は、世界でも類を見ない、15歳以下の各国代表選手が集う国際親善大会である。バドミントン強豪国であるカナダ・デンマーク・イングランド・フランス・インドネシア・マレーシア・スコットランド・スペイン・タイ・アメリカの10か国、そして日本のトップジュニア選手・コーチが庄内を訪れる。

男女それぞれ16名の選手が出場するが、山形県内および本市内の中学生徒の皆さんが、同世代の世界の子どもたちと真剣に切磋琢磨し、交流する貴重な機会となる。

また、大会では、地元のバドミントン競技に携わる小中学生による国別の応援や、大会終了時に行われる各国選手とのふれあい交流など、将来オリンピックに出場する可能性がある若手競技者と国際交流することも、大会の開催意義の一つとして捉えている。

教育委員の皆様からも、ぜひご観戦いただき、選手の皆様に熱い声援を

送っていただきたい。

教育長

4年ぶりということだが、非常にレベルが高かったと思っている。市内のスポーツ少年団が来てくれて、各国の応援をしてくれたことを記憶している。子どもたちにとっても良かったし、出場している選手にとっても励みになったと思う。今年度もそのような形でやっていただければと思う。

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。なければ次に、報告事項（3）及び（4）について、事務局より一括で報告をお願いします。

図書館長

「山形小説家・ライター講座」第8回鶴岡出張講座について紹介する。

この鶴岡での出張講座は今年で8回目となるが、今回は直木賞作家の逢坂剛氏をお迎えして、7月1日（土）の午後2時から出羽庄内国際村で開催する。

現在、講座で取り上げる作品を募集中である。また、作品は提出しないが、第一線で活躍する小説家の先生のお話を聞いてみたいという方の参加も受け付けている。第二部の池上冬樹氏とのトークショーを目当てに参加する方も多くいるので、ぜひご検討いただきたい。

また、開催にあわせて、現在図書館本館の入口では逢坂剛氏の作品を紹介するコーナーがある。貸出も行っている所以、ぜひご来館いただき、手に取っていただきたい。

チラシの裏面にはこの講座の開催の経過や、年1回開催している鶴岡での出張講座のこれまでの講師のお名前、山形で開催している今年度の小説家・ライター講座のスケジュールと講師一覧を記載している。また、講座で取り上げる作品の募集と提出方法も記載しているので、興味のある方へのお声掛けについてもお願いします。

次に郷土資料館の展示「近世鶴岡の俳諧展」についてご紹介する。こちらは9月18日（月）までの会期で現在開催中である。

江戸時代、松尾芭蕉が鶴岡を訪れて以降、庄内の俳句は芭蕉一門との縁を強く結んできている。また、この文化を支えたのが鶴岡の有力な町人たちであり、俳諧を通じた全国との交流が確立されていたことを紹介している。9月までの会期となっているので、ぜひご覧になっていただきたい。

教育長

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

今村翔吾氏と長岡弘樹氏も来るのか。

図書館長

山形市に来る。鶴岡に来るのは逢坂剛氏1名である。

教育長

ほかにご質問、ご意見等はあるか。

なければ、ほかにも報告事項はあるか。

社会教育課長

地域子育て推進講演会の開催について紹介する。例年開催している地域子育て講演会であるが、今年度は「叱らなくても子どもは伸びる」と題し、教育評論家の親野智可等氏をお招きし、7月1日（土）にマリカホー

ルを会場に開催する。親野氏は、平成22年にも講師をお願いした経緯があり、大変好評だったことから、ぜひまたお聞きしたいという声の関係職員からあがりお願いした。

昨年度は、オンライン講習会とし、講師からはモニターを通してお話をお聞きしたが、今回は会場へお招きしての開催である。会場に来られない方用に、自宅でも参加できるようオンライン聴講にも対応する。

これから各小中学校へチラシを配布し、また6月広報でも周知を図る。委員の皆様からもご都合よろしければぜひご参加いただきたい。また、周りに子育て世代の方がおられたらご紹介いただきたい。

次に藤沢周平記念館より、「藤沢周平原作ドラマ上映会」について紹介する。藤沢周平記念館では、記念館への来館を促し、藤沢作品に親しむ機会のひとつとして、令和3年度から館内において、藤沢周平原作ドラマ上映会を開催している。上映会の開催にあたっては、藤沢作品のドラマを多数手掛けている時代劇専門チャンネルのご協力を得て、同社が製作された作品を順次プロジェクターで上映している。

時代劇専門チャンネルは有料放送で、系列のBSフジでたまに放映されることがあるが、普段目にする機会が少ない作品である。チラシには、今年度上半期までの上映スケジュールを記載しているが、毎回申込日から2、3日でほぼ定員に達している。本を読んだことがない人や来館がはじめての人の参加もあり、待ち時間や上映会終了後に展示もご覧になるなど、藤沢文学に親しむ好機となっている。リピーターに加え毎回新規参加者もあり、また、ミニシアターの雰囲気もあり、好評を得ている企画となっている。観覧料は無料であるが入館料が必要となる。5月20日と30日の分は申込終了しているが、6月分は6月2日（金）から申込受付開始となっているので、委員の皆様からも時間があれば申込みいただきたい。

社会教育課文  
化財主幹

「歴史講演会」及び「NHK大河ドラマ どうする家康」関連のパンフレットについて紹介する。

この歴史講演会は、酒井家庄内入部400年記念事業NEXT100の関連事業として、6月3日（土）の午後1時30分から、中央公民館市民ホールを会場に開催する。内容としては、現在NHKで放送中の大河ドラマ「どうする家康」の時代考証を担当した、東洋大学文学部非常勤講師の柴裕之氏と、健康科学大学特任教授の平山優氏をお迎えし、「家康と忠次が生きた時代－危機を乗り越えた先に－」と題し、二人の関係とその歩みについて近年の家康研究の成果を受けながら解説していただく。

会場定員は300名となっており、5月1日から受付を開始しているが、本日のお昼現在で280名の申込み状況と、大変ご期待を頂いている。委員の皆様にもこの機会にぜひともご聴講いただきたい。

関連して、パンフレットはNHKと本市との相互協力冊子として作成さ

れたもので、市内の主な観光施設や市の施設、宿泊施設及び近隣の県を含む道の駅に設置・配布していただいている。内容は大河ドラマ「どうする家康」の人物相関図や酒井忠次役の大森南朋氏へのインタビュー記事のほか、中ほどからは本市の観光マップや酒井家関連として「サムライゆかりのシルク」の説明紙面を掲載するなど、地元の我々が見ても楽しく学べる内容になっている。

こちらも家康役の松本潤氏の表紙が人気なのか、配布具合は好調と聞いているが、まだまだ在庫もあるので、ぜひ周りの方へもおすすめていただきたい。

教育長 ただいまの報告についてご質問、ご意見等はあるか。

親野智可等氏の講演会はすぐに定員の100名になるのではないか。

社会教育課長 これからチラシ配布のため、まだあまり周知していないが10名程の申込みを頂いている。

教育長 藤沢周平原作ドラマ上映会の定員は毎回12名なのか。

社会教育課長 場所が会議室で狭いため定員12名と少なめになっている。藤沢周平記念館から場所を移して大きい会場でやることも検討したが、映像を提供していただいている時代劇専門チャンネルからは、藤沢周平記念館の館内でのみ許可をいただいております、ほかの場所ではご協力いただけていない。

教育長 ほかにご質問、ご意見等はあるか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって5月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時35分）